

論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第 314 号	氏名	臼井 哲也
学位審査委員	主 査 森内 浩幸 副 査 松山 俊文 副 査 増崎 英明		
論文審査の結果の要旨			
<p>1 研究目的の評価 本研究は、HTLV-I が成人 T 細胞白血病を発症させる際に重要な役割を担っている可能性が指摘されているウイルス蛋白 HBZ の発現を明らかにしようとしたもので、目的は十分に妥当である。</p> <p>2 研究手法に関する評価 無症候性キャリア、ATL 患者そして ATL 細胞/感染細胞由来 cell line を用い、プロウイルス量、HBZ-SI mRNA、Tax mRNA の定量を real-time (RT-)PCR で行ない解析したもので、研究手法も妥当である。</p> <p>3 解析・考察の評価 上記手法で実施した調査の結果、HBZ-SI の Tax に対する相対発現の比は、無症候性キャリアで 3.7、ATL 細胞で 330、cell line で 0.02 であり、HBZ-SI が腫瘍化に関与していることが示唆され、ATL 発病の病因論的に大きな意義を有することに加え、新たな感染マーカーや治療の標的として大いに期待される。</p> <p>以上のように本論文は HIV 研究に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士（医学）の学位に値するものと判断した。</p>			